

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)による「平成 27 年度 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業 [2 次公募]」に、循環器腎臓内科学講座 奥村謙教授応募の研究課題

「心房細動発症リスクと重症化リスクの層別化指標の確立を目的とした大規模コホート・レジストリー共同研究」(研究代表者：奥村謙)

が採択されました。

参考 URL : <http://www.amed.go.jp/news/program/010520150818.html>

心房細動は高齢者に多く、その最も大きな問題は心原性脳塞栓症の主たる原因となることです。これは心原性脳塞栓症が他の病型の脳梗塞と比較して重症になりやすく、急性期血栓溶解療法が普及した現在でも、寝たきり～致命的となる患者の割合が高いためです。本研究事業では、

1. 既存の確立された地域住民のコホート研究を統合することによって、大規模統合データベースを構築し、**心房細動発症危険因子の同定とリスクの層別化法(スコア化)**を開発します。

本研究事業に参加する地域コホート研究

- ① 久山町研究
- ② The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)
- ③ 吹田研究
- ④ 新潟コホート
- ⑤ 茨城県コホート

2. 既存の確立された大規模心房細動レジストリー研究ならびに心原性脳塞栓症レジストリー研究を統合することによって、大規模統合データベースを構築し、**心原性脳塞栓症発症を予測するリスクの層別化法(スコア化)**を開発します。

本研究事業に参加するレジストリー研究

- ① J-RHYTHM Registry
- ② Fushimi AF Registry
- ③ Shinken Database
- ④ 慶應 KiCS-AF レジストリー
- ⑤ 北陸 plus 心房細動登録研究
- ⑥ SAMURAI-NVAF Study

心房細動発症前、発症後、そして合併症(心原性脳塞栓症/出血性合併症)発症後の各段階における集団の評価・解析を通じて、日本人のための**新たな心房細動の発症予防法ならびに重症化予防法**を開発することを目指します。